家計簿アプリ「おカネレコ」、親のお金も家族6人で見守れる「ファミリープレミアム」を提供開始

シニア親世代の特殊詐欺、認知症、相続問題に、現役世代の家族で備えるプラン

スマートアイデア株式会社



スマートアイデア株式会社（東京都中央区、代表取締役：江尻 尚平）は、家計簿アプリ「2秒家計簿おカネレコ」がメジャーバージョンアップし、iPhone版（Ver.9.0.0）で、2026年11月11日に新プラン「ファミリープレミアム」の提供を開始しました。離れて暮らす親や子どもも含めた家族6人で、家計簿と通帳を共有できます。特殊詐欺や認知症、相続に備えて、親のお金の状況を家族で日ごろから把握できるようにします。

■背景：親のお金の管理は、現役世代の課題に

2025年の特殊詐欺の被害額は1,423.1億円で、前年の約2倍になりました。被害額の約6割は、65歳以上の方の被害です（出典：警察庁 *1）。

認知症の高齢者は、2040年には584.2万人に増えると推計されています（出典：厚生労働省 2）。判断能力が失われると、家族でも本人の預金は原則として引き出せません（出典：全国銀行協会 3）。成年後見の申立てでは、92.7%が「預貯金等の管理・解約」を理由に挙げています（出典：最高裁判所 *4）。

2024年に亡くなった方は、160万人を超えました（出典：国税庁 5）。相続の手続きは、故人の口座と残高を確かめるところから始まります。2014～16年度には、持ち主が名乗り出ないまま10年間放置された預金が、毎年1,200億円程度発生していました（出典：金融庁 6）。

こうした親のお金の見守りや管理、相続の手続きを担うのは、仕事や子育てに忙しい現役世代です。親の口座がどこにいくつあり、毎月何にいくら出ているのか。知らないまま、いざという時を迎えることになりか

ねません。



■新プラン「ファミリープレミアム」でできること

「ファミリープレミアム」は、家族で家計簿と通帳を共有するための新しいプランです。契約者がLINEやQRコードで簡単に家族を5人まで招待し、契約者を含めて最大6人で使えます。離れて暮らす親やきょうだい、夫婦、子どもまで、世代をこえて同じアプリでお金の状況を確かめられます。

1. 離れて暮らす親のお金を、家族で見守れる「家族通帳」



- シニア・親世代の銀行・クレジットカード・電子マネー・ポイントの残高と明細を、離れて暮らす家族も同じ画面で見られる（20口座まで）。電話で聞かなくても、親のお金の様子がわかる。

- 見慣れない振込や大きな出金に家族が気づけるので、早めに「これは何の支払い？」と声をかけられる。
- どの銀行に口座があり、毎月何が引き落とされているかを、元気なうちから家族で共有できる。いざという時や相続のときに、口座を一から探す手間が減り、慌てないための備えになる。
- 家族ができるのは見ることだけで、口座のお金を動かすことはできない。だから親も、安心して口座の様子を家族に見せられる。

2. 高齢・シニアの親のお金の管理を、家族・兄弟で共有・分担できるデータ共有機能

- 高齢・シニアの親世代の家計簿を共有すれば、子ども世代のきょうだいそれぞれが立て替えた医療費や介護費を記録できる。誰がいくら出したかが1冊にまとまるので、負担の分け方を話し合いやすくなる。
- 明細はExcelやCSVで出力できる。きょうだいへの報告や、後見・相続の手続きの資料を一から作る手間が減る。

3. 両親の家計簿や子どもの家計簿も、自分の家計も、同じアプリで管理できる「マルチ家計簿」

- 例えば「実家」「わが家の生活費」の家計簿は家族と共有し、「自分のおこづかい」の家計簿は共有せずに使える。家族と共有したいお金と、自分だけのお金を、1つのアプリで分けて管理できる。
- 自分のおこづかい用の口座のように、共有しない家計簿につないだ口座は、残高も明細も家族には見えない。家族と共有しながらも、自分のお金のプライバシーは守れる。
- 夫婦で生活費の家計簿を共有すれば、どちらが払った買い物も1冊にまとまり、わが家の家計がひと目でわかる。子どものおこづかいも、別の家計簿で記録できる。
- 教育資金のためにNISAで積み立てている証券口座も、共有した家計簿につなげば、評価額を夫婦で確認できる。教育資金がどれだけ貯まっているかを一緒に見ながら、将来の話がしやすくなる。

4. 料金とプランの比較

料金は月額1,480円、年額14,800円（いずれも税込）です。招待された家族に追加の料金はかかりません。6人で使えば、1日あたり約49円です。



※本プランはiPhone版（Ver.9.0.0以降）のみ対応しています。
※口座の連携には、各金融機関のインターネットバンキングの契約が必要です。
※1日あたりの金額は、月額1,480円を30日で割った目安です。

■代表取締役ファイナンシャルプランナー江尻尚平コメント

「親のお金の相談は、問題が起きてから持ち込まれることがほとんどです。特殊詐欺も、認知症による口座の凍結も、相続も、家族がふだんから状況を知っていれば、打てる手が増えます。親のお金を一人で抱え込まず、家族みんなで見守れるように。そんな想いで、このプランをつくりました。これからも、世代をこえて家族が安心してお金と付き合える仕組みづくりに取り組んでまいります」

■2秒家計簿おカネレコについて

「2秒家計簿おカネレコ」は、累計500万ダウンロードの家計簿アプリです。手入力のしやすさにこだわり、レシート撮影での自動読み取りや、支出がひと目でわかるグラフ表示を備えています。

- 名称：2秒家計簿おカネレコ
- 価格：基本利用料 無料（一部プレミアム機能は有料）
- App Store：https://itunes.apple.com/jp/app/id554067740?mt=8
- Google Play：https://play.google.com/store/apps/details?id=com.smartidea.quickmoneyrecorder

■会社概要

- 会社名：スマートアイデア株式会社
- 代表者：代表取締役 江尻 尚平
- 所在地：東京都中央区日本橋茅場町1-8-1　茅場町一丁目平和ビル8階
- 設立：2012年5月
- 事業内容：スマートフォンアプリ「2秒家計簿おカネレコ」の開発・運営

- 公式サイト：https://smart-idea.jp
- アプリURL：https://okane-reco.com

■本プレスリリースに関するお問い合わせ

スマートアイデア株式会社　広報担当

E-mail: press@smart-idea.jp

■出典

1 警察庁「令和7年における特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の認知・検挙状況等について（確定値）」 https://www.npa.go.jp/bureau/criminal/souni/tokusyusagi/hurikomesagi_toukei2025.pdf

2 厚生労働省「認知症および軽度認知障害（MCI）の高齢者数と有病率の将来推計」（「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」九州大学 二宮利治教授をもとに厚生労働省が作成） https://www.mhlw.go.jp/content/001279920.pdf

3 全国銀行協会「金融取引の代理等に関する考え方および銀行と地方公共団体・社会福祉関係機関等との連携強化に関する考え方」（2021年2月18日） https://www.zenginkyo.or.jp/news/2021/n021801/

4 最高裁判所「成年後見関係事件の概況（令和6年1月～12月）」 https://www.courts.go.jp/vc-files/courts/2025/20250313koukengaikyou-r6.pdf

5 国税庁「令和6年分 相続税の申告事績の概要」（令和7年12月） https://www.nta.go.jp/information/release/kokuzeicho/2025/sozoku_shinkoku/pdf/sozoku_shinkoku.pdf

6 金融庁「休眠預金等活用法の概要」 https://www.fsa.go.jp/policy/kyuminyokin/01gaiyou.pdf